



2月のけんこうだより



令和6年2月1日
なかのしまのぞみ保育園

全国的にインフルエンザやコロナウイルスの報告者数が増えています。園内でも家族内感染や兄弟児感染の報告を先月から受けるようになってきました。川崎市では特に新型コロナウイルス感染症の報告が増えているようです。またインフルエンザもA型だけでなくB型も出ているそうです。引き続き体調管理には注意してください。

1月の感染症情報です。新型コロナウイルス感染症3名、溶連菌感染症1名でした。

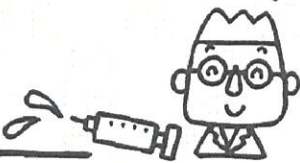
その他、幼児クラスでは腹痛や下痢などで早退したり欠席するお子様がありました。



保護者の方へのお願い

体調不良でお休みし、受診後感染症の診断がついた場合はお手数ですが園までご連絡をお願いいたします。

また、熱や咳などでお休みする場合 Hug Noteの連絡帳、家庭での様子の項目で体調面の詳細(体温、症状、食欲、機嫌等)を記入して頂けると助かります。ご協力よろしくお祈りいたします。

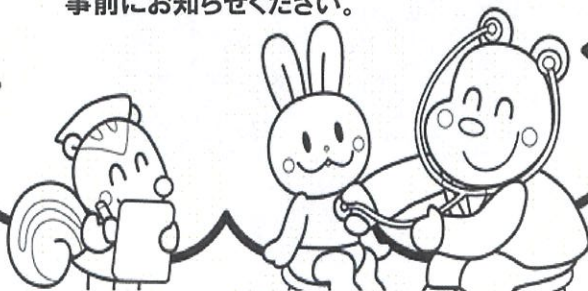


園医健診のお知らせ

2月は全園児が対象です

26日(月) 14時から

今年度最後の健診となります。体調面で気になることがありましたら事前にお知らせください。



豆まき、ちょっと工夫しましょう

2月3日は節分の日。豆まきは楽しい行事ですが、いり豆は窒息の原因となりやすい食べ物です。のどにつまらせたり、くだけた豆が気管に入り、誤嚥を生じることがあります。3歳ごろまでは食べさせないようにしましょう。

くだけた豆も危険です。また、家の中にまいた豆を拾って口に入れないように注意しましょう。

こんなものにも要注意!

いり大豆やナッツ類も3歳までは食べさせないように。



豆を食べるときは……

● 落ち着いて食べる

きちんと座らせ、大人が見守るところで食べさせましょう。



● 水分をいっしょにとる

のどをうるおして、飲み込みやすくします。

2～3月は花粉症のシーズンです。

花粉症の症状は風邪と紛らわしく、子どもは症状をうまく言えません。

気になるときは、小児科や耳鼻咽喉科などで相談するようにしましょう。

子どもの花粉症について

こんなサインに 注意

大人の病気と思われがちですが、5～9歳では13.7%、10～19歳では31.4%もの子どもが花粉症だというデータがあります。花粉症の症状があっても、熱がないなら大丈夫、と油断しがちですが、花粉症の症状がずっと続くと不快だけでなく、さまざまな問題を招くおそれがあります。

花粉症の 三大症状

くしゃみが出る

鼻水・
鼻づまりが続く

目を
こする

● 口をいつも開けている

しつこい鼻づまりのために、口呼吸になります。乾いた空気が口からのどに入るため、風邪などをひきやすくなるおそれがあります。



● なかなか寝ない

● 日中元気がない、きげんが悪い

息苦しさのために、よく眠れなくなります。そのため、昼間に元気に遊べなかったり、きげんが悪くなったりします。小学生になると、授業に集中できないなどの問題が起こってくることも。

花粉と接する機会を減らそう

花粉症対策は、花粉に触れないようにすること。花粉に接する機会が多いほど、花粉症になる可能性が高くなります。花粉が増えるシーズンは、治療と予防をかねて、身の周りの花粉との接触を減らしましょう。



花粉を家に持ち込まないために

外干ししない

花粉が多く飛ぶシーズンは、洗濯物を外に干すのを控えましょう。

玄関で脱ぐ

外から帰ったら、コート類は玄関で脱いでつるすなど、室内に花粉を持ち込まないようにしましょう。

服からも取り除く

衣類をはたくと、花粉が舞い散って逆効果です。粘着テープなどで取り除く、花粉がつきにくいツルツルの素材の上着を選ぶなどがおすすめです。